

新潟県

公民館月報

昭和61年11月号

発行所 新潟県公民館連合会

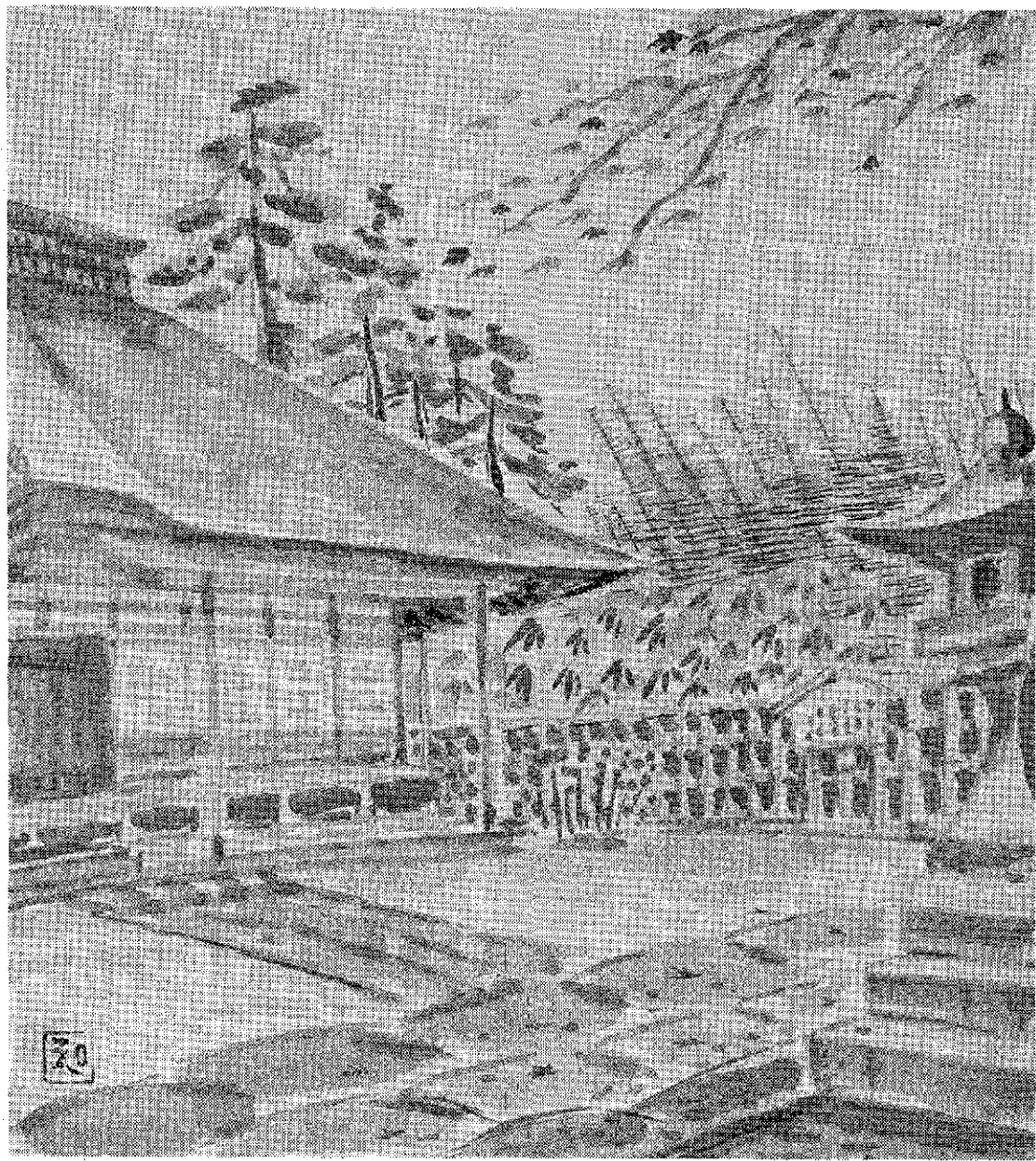
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟 (025) 224-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 志水 亘

編集人 事務局長 上村 捨二郎

【定価1部 120円 年共 1,440円】



逆さ竹の西方寺

越後七不思議の一つに「鳥屋野の逆さ竹」がある。県庁にほど近い鳥屋野西方寺にその竹やぶがあつて、国の天然記念物になっている。

伝えられるところによれば、親鸞上人が新宗を説いて旧門徒の迫害にあい越後に流された。後日鳥屋野に草庵を開いて布教につとめた。ある日、

上人は持った竹杖を地にさし、「己が弘むる法、仏意にかなうならば、この枯れ竹蘇生せよ」と唱えた。すると不思議、逆さにたてた竹杖に根を生じ、一面逆さ竹のやぶになったという。

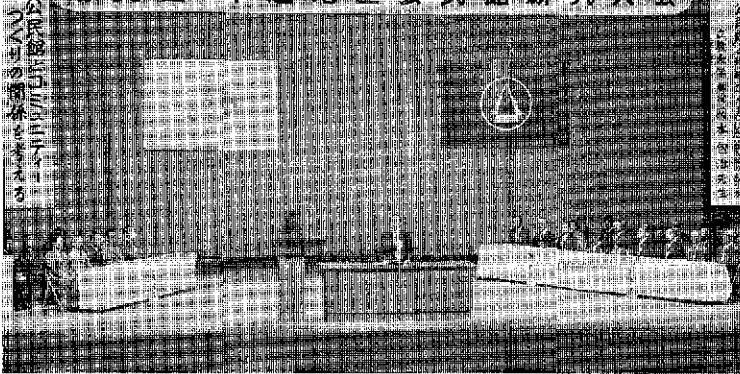
信仰にまつわる面白い伝説だと思ふ。なるほど、枝が垂れさがって逆さ状の竹が幾本も見られる。しかし、これはしだれ柳や桜のように竹のしだれたものであるとももの本にある。

騒音雑踏の街道から路地に入った境内は、黒松や菩提樹の太木が堂を覆い、柵に囲われた竹やぶの中から静寂を破って鳴く野鳥の声が、なにか不気味に聞こえてくる西方寺である。

(絵と文 新潟市鳥屋野地区公民館 巢守の会会員 藤木 和夫)

第37回新潟県公民館大会

第37回 新潟県公民館大会
第35回 中越地区公民館研究大会



地域づくりに果たす

公民館の役割を追究

基調講演は岡本包治氏(立教大 学教授)

去る九月二十四日、柏崎市市民会館において、第三十七回県公民館大会が開催された。七百五十名を超える参加者が一堂に会し、厳粛な雰囲気の中で、熱気あふれる研究協議が終日続き、極めて充実した大会だった。

開会式について恒例の表彰式がつきつづき、基調講演は、立教大学学教授の岡本包治氏により、主題「公民館と地域づくり」を生後教育時代に即応する公民館のあり方について、表彰された館名氏等は、既述に

基調講演要旨

一、地域社会のセンターとして組みはじめたことができた。よって公民館は単なるハコモノではなく、地域社会のセンターとしての重要な役割を持っている。

二、公民館事業の今後
——地域に波及を
広げる工夫——
地域社会のセンターとしての役割を担う公民館は、事業で勝負しなければならぬ。限られた定員

近年市町村行政では、行政目標を掲げようとする。これらの中には、学級・講座を主として、公民館の主体に、地域の全体が取

実践により、実践発表ならびに、実践上の問題点を質問し、講師から指導を受ける形式の研究協議がすすめられた。岡本氏は、全国的な視野に立って、具体的な実践事例を示しながら、明快に解答され、参加者を最後の最後まで釘づけにして離さないほかに魅了した大会であった。

一、養成の学習に「参加させて、自ら学習への姿勢を正すこと」が重要。公民館の役割は、子どもを育てることにあり、子どもを育てるために、レク指導の役割を引き受けることで、地域問題にかかわる、といふことである。

現在の一日研修となった十年を経過した。この間、一日研修の底の深さが指摘されてきたが、今大会では、その問題を払拭して余りある程度の濃い研修だった。

二、公民館経営の方向
——社会教育ポラン
——「一人一役の活動」——
公民館は、集って学んだ人たちが、その学習の成果を地域へ持ちかかせることを考えるべき。それは、社会教育ポラン活動をすることであり、地域での活動の場を、考えることである。

また、生涯教育時代の学習で欠落している世代、つまり男子成人を公民館へ近寄らせる工夫も必要。ある都市公民館の成功例を紹介する。最初二年全館生協講習会

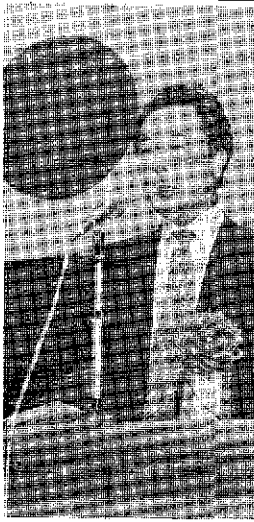
三、評価の観点を選元に
——とだけおすそわけ
できたか——
地域は面、公民館は点。点をど

識や関心を高めるなど、どう異なり活動が大切である。

四、公民館と地域づくり
——一人一役の活動——
みんなが自分の活動で、地域のための役割を果たすことが、地域づくりである。地域の貧困・失われた地域の心(「他人

① 自分自身がよく学ぶ公算がある。② 自分自身がよく学ぶ公算がある。③ 人に教える。④ 人に教える。

五、評価の観点を選元に
——とだけおすそわけ
できたか——
地域は面、公民館は点。点をど



地域は面、公民館は点。点をど

県大会開催地レポート (完)

ゴールはまた新しきスタート

昨秋以来、開催地事務局として準備を進めてきた第37回県大会が、折柄、村おこし、町づくり、今春以来、月報紙上をとおして開催地レポートをお伝えしてきたが、先程行われた市公民館長会議での反省評価をまわって、以下、総括レポートといたした。

大会主題については、昨秋全き、市公民館関係者等によるアンケートであった。

日程については、基調講演の一日間は講座から考えても短かすぎ、少くとももう三十分間は必要であった。

講師の岡本先生からは、午前の基調講演に引き続き午後後の研究協議の助言、そして総括指導と殺人の日程をご指導をいただいたが、具体的な事例を豊富にあげられて実に意欲的なご指導をいただいた。

今日大会成功の第一原因として講師・岡本先生をあげられる方が多かったが正にそのとおりではないだろうか。



近年、住民シヨン中心に傾いて、いわゆるの学習、文カルチャーセンター化が進んで、スポーツ、いとも聞、私は今こそ「教活動に対する 高麗業」といわれている各種の要求は、かつ、事業と「公民館事業」の本質を、分析し、相互連げの途を研究と広がりを見、する時期をきていると感して、せておりまた、るのである。

これからの公民館

竹内明恒

内容が高度化してきている。こうした動きの中で民間の教育産業が花ざかりであり、それと競合するかのよう公民館の事業が趣味やスポーツ、レクリエー

住民の学習文化活動への指向は、ますます複雑化する社会構備は、ますます複雑化する社会構備は、この二つの欲求の側面を、進歩し発展する技術や情報として社会文化化の努力を適応し、その進度の現れとして期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて



公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

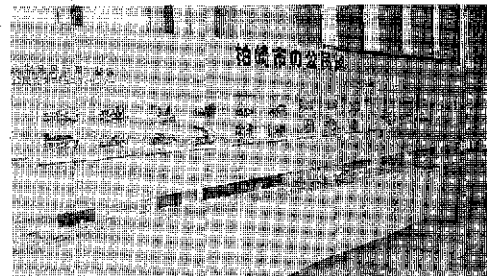
公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

公民館が社会教育の中核施設として期待されるのは、自己学習面と、そつした生活条件の激習、相互学習の機能をもつて

大会のメインイベントとも言うべき研究協議は、司会、田辺祐治、下州公民館長の長年にわたる経験に裏打ちされた職見と人柄がにじみ出て、まさしく真剣な中にもほほのとした風かを感じさせるものがあつた。



フロアからの発言もそれぞれの市町村での事前研究協議の裏打ちを感じさせるものがあつたが、登壇された三人の地区代表による発表は、地区代表というより市町村代表としての発表にすぎなかった。

大会要項に定められた申込み期限までに参加費を添えて申し込みをした市町村は、実に全参加者の三分の二以下であつたと言ふ。

みんなできめた大会要項を、まざキチンと守ることと今後の大会の課題なのではないだろうか。

みんなできめた大会要項を、まざキチンと守ることと今後の大会の課題なのではないだろうか。

公民館員爺のメモ②

—どんな職員が求められているか—

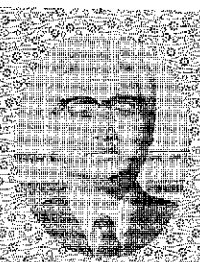
成島 継紀

- 一、熱意のある人——いつでも多業に相談にのつてもらえる職員。
- 二、市民の立場にたつて本心に考えてくれる人——職員と住民の信頼関係、熱意、力量を以て高揚性。
- 三、地域の実情・要望をよくつかんでる人——長年
- 四、求めに応じて指導助言が適切にできる人。
- 五、講座終了後のグループの学習意欲の芽はえをもちつづけるか、発展へ結びつけるかの配慮ができる人。
- 六、市民の多様な要望をどうするかの見通しを持つてい
- 七、仲間づくりを大切に考える人。
- 八、市民と職員の相互学習の立場を大切にす
- 九、民主的な社会教育につ

目 八 目

- 一、熱意のある人——いつでも多業に相談にのつてもらえる職員。
- 二、市民の立場にたつて本心に考えてくれる人——職員と住民の信頼関係、熱意、力量を以て高揚性。
- 三、地域の実情・要望をよくつかんでる人——長年
- 四、求めに応じて指導助言が適切にできる人。
- 五、講座終了後のグループの学習意欲の芽はえをもちつづけるか、発展へ結びつけるかの配慮ができる人。
- 六、市民の多様な要望をどうするかの見通しを持つてい
- 七、仲間づくりを大切に考える人。
- 八、市民と職員の相互学習の立場を大切にす
- 九、民主的な社会教育につ

づくり 応した あり方～



司会 田辺正直氏
新潟県公民館協会会長

新井市では、公民館を中心に地域づくりに力を入れてきたが、昭和57年からは、地域の自主活動により「うるおいのある住みよい地域社会」づくりをす



「うるおいのある住みよいまちづくり」を

新井市瑞穂分館長 飯吉義夫氏

すすめている。具体的には、心のふれあいによる温かい人間関係の樹立を目指し、①スポーツやレクの事業や学習で、一人ひとりが地域の実態をよく知る活動②話しあいのできる雰囲気づくり、③地域のことは地域で、と38地区が各々独自性を発揮している。

運営面で①女性・高齢者を含めた事業の企画、②地区役員を多くし、末端組織の確立を図る、③全戸にコミュニティづくりの啓蒙をするため、広報を発行している。④現在、実年者の組織づくりに取りくんでいる。

【質問】分館長と、区長・地域づくり会長の役割を、三役兼務・二役兼務・一役独立と様々なタイプがある。地域づくりを効果的にすすめるための役割のあり方はどうあればいいか。
実年会の組織化に当り、配慮すべきことを示唆願いたい。
【指導】分館長と地区役員とを兼ねる問題は、それぞれの役割が違うのだから分けるのが原則である。しかし、実際は、役割を分けにくいことや、地域内に

人材が得にくいことなどから、併任があっても止むを得ないことだ。ある町で、青少年問題の対策に、PTA・学校・町会の三者がバラバラに活動し、却って混乱した事例がある。
実年会の組織化については、鯖江市(福井県)の例を示そう。
鯖江市では、一時期、若者が神輿を担がなくなり「祭り」が途絶えたことがある。この時は、



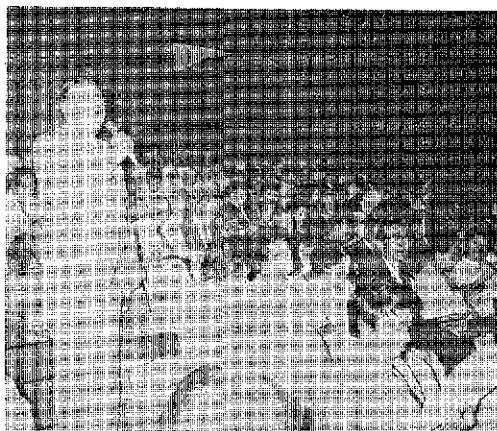
足ひき根性の

克服に挑戦

加茂市公民館 長山田欽治氏

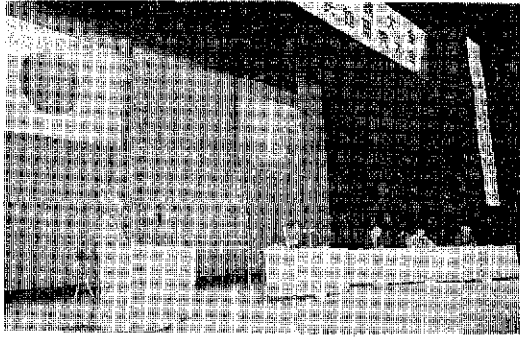
中年者によって、祭りが復活した。これを契機に、公民館の働きかけで実年会ができた。初めのうち、日分たちのこと(健康の問題など)しか考えていなかったが、しばらくすると、どの地区でも決ったように、青少年問題や、町づくり問題に移っていった。だから、入口は自分たちの問題でもやがて、まちづくりの問題に向うようにすること。

加茂市では、市の長期構想として「産業振興・住民福祉の向上・うるおいのある地域社会の創造」があげられ、行政のみでなく、住民参加のまちづくりが進められている。その中核となっているのは、市民活動委員会である。住民が自主的で責任を持ち、自覚して、開放的で、相互にふれあうことを基本精神にしている。これまでの主だった仕事には、市民憲章の策定、主役となったこと。加茂川の改修を反映させたことなどである。公民館は、このまちづくりに、あくまでもワキ役で①学習



術的な学習、③みんなの声を紹介するという三点である。
この関わりの中で明確になったことは、①地域の足ひき根性②積極性・協調性・連帯性の欠如である。これをどうすれば克服できるかが課題である。今夏の青年たちのイベントによって連帯性や積極性の萌芽が見えてきたように思われる。

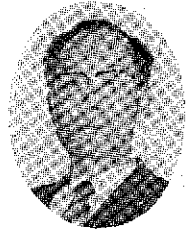
【質問】公民館の「館」がないのが加茂市である。地域づくりの問題を学習するために、またコミュニケーションを深めるための「館」がない。こんな状況の中で、住民の「足ひき根性」を克服するために公民館はいかにあるべきか。
【指導】施設はその施設の目的にウエイトがおかれる。勤労青少年ホームは勤労青少年にウエイトをおくのは当然である。公民館は、一定区域の住民のために、総合的に活用される施設であるから、例えば、地域エゴなどを、繰り返す公民館活動の中で是正されるであろう。この場合公民館という「館」があれば、さらに多様な学習活動が展開できるし、もっとキチッとした対応ができるであろう。



研究協議

公民館と地域

～生涯教育時代に即 公民館の



スポーツで築く荒川町
荒川町公民館長 飯沼好氏

荒川町は県北の小さな町で、中央にある公民館一館で32の散在する部落を十分に結集できる。昭和41・42年のあいつぐ羽越大水害の復興を機に、昭和50年以来「スポーツで築こう明るい荒川町」をモットーにして、町づくりに取り組んでいる。昭和54年8月1日にNHKの朝のラジオ体操取材を記念し、以後毎年この日は町ぐるみのラジオ体操の日として続いている。各部落ごとに、この日のために準備がすすめられる。そして、その余勢を駆って、十月十日のスポーツの日の大イベントまで部落ぐるみのスポーツ活動が展開される。各区分長・推進委員・部落PTA・部落老人会などでスポーツが推進される。このスポーツ推進活動が、部落の団結力や協力体制をより強固にしている。特筆すべき事例は、新しく団地が造成された時のこと。そこに住む人たちは、最初は部落の仲間に入りこめなかったが、スポーツのための道具を借してやるのがきっかけとなって心が

通いあうようになり、今は地域の重要な構成員になっている。
【質問】当町の地域づくりの主流はスポーツによるものであるが、文化面からも迫りたいと思うが、配慮すべき事項はどういうものであるか。
【指導】スポーツは裾野が広いから参加率も高い。スポーツから

フロアーからの質問

一般参加者からの質問(柏崎市・長岡市・小国町・小千谷市の三市町六人から質問があった。)

- 1 公民館のコミュニティづくり果たす役割は。
- 2 公民館現場に、一方ではコミュニティづくり、他方では生涯学習の推進と二つのことが同時に入りこんでいる。焦点を絞りにくい、どうしたらよいか。
- 3 地域課題の発掘や解決への手順、また地域づくりに取り組むと政治の問題と出合う。どうしたらよいか。

入口とした地域づくりは容易であり賢明である。そこから文化活動に及ぼす場合に配慮することは、一流と二流の考え方である。つまり、地域スポーツの本流は、地域住民の健康づくりや連帯意識づくりなのであって、記録づくりではない。一流選手養成のためのものではない。同様文化面でも、一流指向は好ましくない。趣味や仲間づくりが主流でなければならぬ。そうでないと文化活動も盛んにならないし、地域づくりに役立つ活動ではなくなる。

総教育者である。つまり、学ぶだけでなく、その先にねらいがある。近隣に役に立つ学び方、地域に還元することであり、それは、町づくりに生かされるものでなければならぬ。

- 3 地域課題の発掘というが、大抵の場合、課題の見当はついているのであって、むしろ、それを住民がどう理解しているかを探ることでないのか。それがわかれば解決の糸口をつかむのは容易である。

旭川市の例を紹介する。旭川市では、買物市場へ行きやすくしてほしいという住民からの要望を解決する課題を持っていった。市当局は、当初は、買物に行きやすい機能的な道路をつくることだけを考えていた。しかし、住民たちは、せっかく道路を作るのであれば、老人の憩いのスペースがほしい、母親が買物中、子どもが遊べる広場もほしい、という要望が出て、結果的には、買物道路が、買物広場をも作ることになった。市当局の発掘した課題「機能的な道路づくり」をめぐる、住民サイドから多様な解決方策が提示されたわけである。

地域づくりの活動には多かれ少なかれ政治問題と関わりを持つのは当然。あまり神経質に考えない方がよい。

大会印象記

暗中に一条の

光明を
川上 嘉清



この大会のメインテーマである「公民館とコミュニティづくりの関係を考える」ということは、きわめて大きく、広範囲な課題である。そしてこのことは、近年、自治体の行革がらみで、特に叫ばれるようになった活性化という理念の範疇では、かなり技術的な面をもつ社会教育活動実践上の重要課題である。そして、その自治体での公民館活動でも、過去・現在を通じて、いつでも試行錯誤を繰り返して、いつでも試行錯誤を繰り返して、なやみ続けている問題なのである。それだけに、公民館運営に真剣に立向っている参加者はこの大会の発表内容には、極めて興味をもったものと思われるのである。

大会の中で特に注目されたのは立大教授岡本先生の、情熱的な講演と研究協議の御指導であった。参加者は、正に暗中に一条の光明

を照らした。いつも過言ではなからう。会場を埋めた六六〇名の参加者は、やむことのない万雷の拍手で終った開会まで、この協賛に引込まれていた。正に、全員参加の一日であった。開会し、君が堀之内町の公民館新館を、新しい感覚で設置し、公民館活動の運営に、新しい力が湧出するのを見えた。(堀之内町公民館運営委員)

示唆に富んだ

大会運営
成田 常信



あかねげした表紙の大会誌をもらひるい大ホールに入る。やがて中は静かに暗転。さきまでのざわめきもおさまり、スポットライトに「第三十七回新潟県公民館大会」の文字が照し出されたことから始まった開会式。

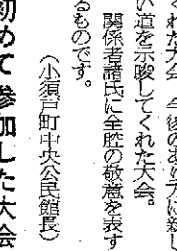
君が代を唱へくしがりて歌ったなあ、ともらず同僚、等々見事な演出。会場の参加意識をいやが上にもかきたるる十六分であった。レモニー、簡潔に終る。基調講演、

を学んできました。これまでは、一人の住民サイドからのみ、公民館活動を見てきました。公民館とは、色々な教室、講座を開いてくれる所、色々な権限をやってくれる所という意識が強かったのです。安んずる、有意義、西いっばなし、まさにそんな感じでした。

今回講演して下さった立教大教授の岡本包治氏、それにバスターとして色々な意見を出された各地の代表の方々のお話を伺い、私はとても反省させられました。公民館はカルチャーセンターで体的に美談例をあげて指図してくれた講師。参加意欲をもりたてくれた運営。

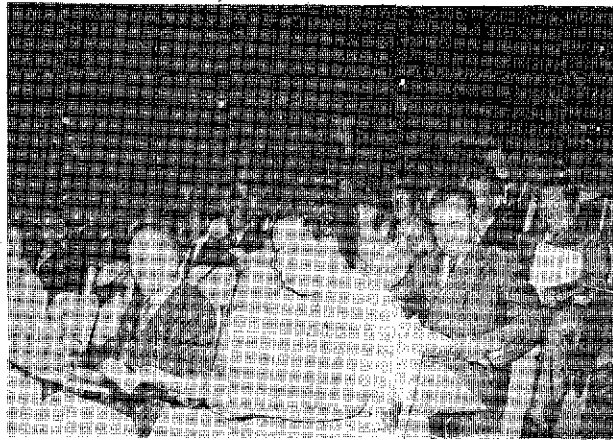
初めて参加した大会

大きなおみやげ
富岡 洋子



初めに参加した大会。今後のあり方に新しい道を示唆してくれた大会。関係者諸氏に全腔の敬意を表するものです。(小須戸町中央公民館長)

柏崎市の花は「やまゆり」だといふ。そのやまゆりの里で行われた公民館大会で、私は多くのこと



ふパンプであり、その人がまを如の人も論を振って行くようなパンプでなければならぬ。つまり公民館で学んだ人たちは、その学んだものを、地域に還元していくべきである。そういう考えが全く無い、利用するだけの一人だ。たいていことに気付いたのです。初めて参加した大会から、私は大きな土産を持って帰りました。(豊栄市公民館運営委員)

大会に参加しての

雑感
本間 信一



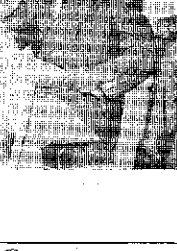
立教大学の岡本先生の講演の時に、会場の雰囲気を見ますと、先生の貴重なお話を一言も聴きもせず、まじと真剣なものでした。私のような不勉強な者でも「山盛りのお寿し」の話は印象的でした。それは公民館の実習で作った「お寿し」はその場で全部食べてしまわずに、皆分けて地域に持ち帰った。「これが公民館で作ったお寿しです」と近所に配ったという話かたいつのりです。これは、「公民館は何をやるか」という地域の関心に心を配るのに、その精わ

たし役である私たち一人ひとりがその気持でやれと、お教えたのだのではと理解しています。全体を通じて、これからの公民館運営が二一スの多様化に合わせた難しさを、また役割もますます重要なものになっていくこと、おこがほおのびながらわがまわし、それぞれの立場で出来たこと、(私の場合結婚して、母親として)地域と公民館の橋わたし役としてがんばらなければならぬことを痛感いたしました。(柏崎市中央公民館推進委員)

このたびの公民館大会で、この継続の努力を教えられました。(新津市公民館運営委員長)

おすすめのできる活動

岡島のリ子



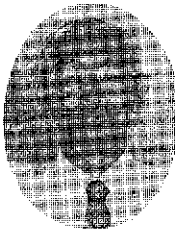
この大会の大切さを教えられました。ある教育者は、「教育はいくらやってもキリがない。また、いくら手を抜いても、その時はわからぬ。しかし、あとになって結果が出てくる。」といっています。近年なにか忙しむという言葉を運送する人が増えています。それはそれでいいのですが、人間としての向上への努力、つまり先ほど述べたような「継続の努力が大切なこと」をばはばいれたいようにしたいものだと思います。

このたびの公民館大会で、この継続の努力を教えられました。(新津市公民館運営委員長)

全参加者の

要望に応えた大会

松岡 猛



このたびの県公民館大会に参加した感想を要約すると、

一、地元を受け入れ態勢がきわめて懇切でいっぺいで、行きどつていたことである。お世話いただいた地区役員の方々に厚く御礼を申し上げる次第です。

二、大会メインの催しである、岡本先生のお話は、具体的な多くの示唆を示された。すばらしいものであった。特に地域づくりにおいて、学習に参加した者が、いかにその地域を還元していかうかが、要求課題を必要課題にしていく方途等々、時間が過ぎるのをおしまれる位であった。

三、開催地のせつかくの貴重なしポート(映画)が、音声不備のため中止されたことは、まことに残念であった。しかし、ロビート用意された各種の資料は、読者の胸を打つ貴重な足跡であったと思ふ。

三十七回に及ぶ大会が、その意義を問われようとしている時、今大会は、参加者自身の要望に応えた、充実した意義深いものであ

ったと思う。私も、明日からの積み重ねに、このたび学んだ教訓を生かし、地域づくりに専心したと願っている。

(糸魚川市中央公民館長)

感銘深かった講義

岩見信雄



柏崎は公民館のメッカといわれるだけあって、今大会の準備、運営は、いかに公民館らしい細かき配りがいま届いており、立派なものであったことに、先ず敬意を表した。

内容的にも、大会本部と地元との連携・企画直しきを得て、時宜にかなった充実したものであった。メインテーマは、地域づくりという課題をとりて運営され、公民館という生涯学習の土壌の上で、この両者をよくかみ合わせて進歩はよき講師を指導者として、二つの課題が、ともに生き合ひ形で結合し、生涯学習が地域づくりに還元し、それがまた逆に生かされて、タイミニックに傾進融合していく公民館活動の姿が描き出されてきたことである。

講師先生から、明快な論理とともに教示、紹介された数々の豊富な事例は、直ちに明日からの実践

に直結するものとして感銘深いものであった。本大会が成功裡に終ったことに拍手を送るとともに、明日からの公民館活動に、みのあるものとして還元していきたい。

(見附市新潟公民館長)

大会要項への希望

佐藤久恵



紙幅の関係で、大会要項一つに絞って、希望を述べさせて頂く。一、表紙は冬後とも配慮を

一、表紙は冬後とも配慮を

一、表紙は冬後とも配慮を

陰はあまり関心を持っていない婦人さえ、要項を手にしての発言が「いやあ、すばらしい」の一言だった。表紙は要項の顔である。顔がなければ、取り扱ひも自ずと丁寧になり、読む意欲も薄くは無い。今後とも表紙には配慮を続けて行って頂きたい。

(見附市公民館)

公民館の歌の作詞者名

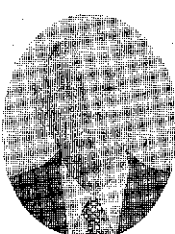
作詞者名がでていなかった。身近にあった「新潟県公民館誌」にも、この歌が出ていたが、作詞者名をやはり見られなかった。歌詞は明で、公民館にふさわしい内容が表現されているので、きつと名のある人の作に違いない。ぜひ氏名をハッキリさせて、記入して頂きたい。

三、参加者簿に年齢・性別を
公民館の組織の
実態の一端を知る
ため、参加者の年
齢・性別も明記し
て頂きたい。氏名
だけでは高齢者・
若年者・性別がよ
くわからない。
四、校正に留意を
資料に、繰線
(線の)繰線(横
糸)とあるのは、
逆である。
(山北町公民館長
(二)指摘のとおり
です。校正ミスをお
お詫びします。編
集)

地域と共に歩む

公民館

新保冒治



久しぶりに公民館大会に参加させていた頂き、これまでの私の生活の教育的側面を回想した。初任

校赴任する頃、親しい友と「お互い、村の一人として一隅を照らすことができれば本望じゃないか」と語り合っただけに、至らぬ。学校教育の場を過ぎた私が、

「県教育庁北魚沼庁舎所のカリバ」書き来い」と命ぜられた頃、社会教育の仕事もせよとの事で、この頃の素情らしい先輩各位に導かれての私の歩みを想うと、今感謝の心で胸が一杯になる。その頃「公民館は町や村の条の間だよ」と教えられた。学校教育の明け暮るる学校でなければ進めないうこと

を痛感した。地域社会との融れ合いで共に刺激し合ひ、共通の課題を感懐して歩く「地域の人になり逆である」。

本人が社会教育の大道を邁進していることに深い敬意を表します。(小千谷市公民館運営委員長)

プロフィール

新井市公民館主事

大野公男氏 (31歳)

身長168センチ、体重88キロ

巨体を露わす美声の持主の彼は、大声でせわしうとそれだけでいつとも相手を気づかいないが、元気でハキハキとした受け答えの音が部屋に響く。こんな姿がいつもの公民館事務室の光景である。

日頃の仕事ぶりは、とうとうと日曜、祭日以上の勤務にも耐えて日夜職務をまっとうしており、同僚とのチームワークを大切に、事業に關しては常に創意と工夫をこらしたことによく気がつく。随分と仕事を進めている。仕事熱心なあまり、時々早急品として日休をぬいしばい小さくしながら困惑している、愛すべき存在である。

彼は、昭和48年4月市役所税務課をふりだし、昭和55年4月から教育委員会社会教育課勤務となり、青少年教育・文化行政を担当しその後、公民館勤務となり、以来地域に密着した公民館活動を展開しながら、地域住民のニーズに答え、旺盛な行動力と柔軟なアイデアを生み出して、生涯教育推進に情熱を燃やしている。公民館活動の最前線を担う、中心的人物である。仕事面から酒を飲む機会が多く、同僚と交わりつらんで、釣魚を養っている姿も時々見かける。昔に飲み二ヶシーンを大切に、人の面倒見も良く、人の心を和ませる。家族は、両親と良妻賢母で美人の奥さんと一児の良きパパであるが、職務上、家庭サービスママまならないと思えるが、そこは手なれた仕事と同様、「しやが、しやが」しないのが身上。

これからも、健康に十分注意し、持前の知識と豊かな経験を生かし、生涯教育の推進に一層の努力と活動をしてほしいと願っている。

(新井市公民館長)



事業紹介Ⅷ

県社会教育課関係事業

生涯教育推進事業

県では、生涯教育推進のため、次の事業を実施している。その概要は以下のとおりである。

総合的見地から生涯教育の推進を図るため協議を設け、推進の在り方等について検討を進めている。

指導者研修事業

(社会教育主事、公民館主事等研修)

社会教育主事等社会教育関係職員は、職務の内容から専門的知識・技能が要求されている。とりわけ近年における住民の学習要求の多様化、高度化に対応するためには、たゆまない研修によって、資質の向上を図る必要がある。したがって、計画的・継続的に進めなければならない。

県教育委員会は、次のような研修を実施してきている。

- ・市町村新任社会教育関係職員研修会
- ・上、中、下、佐渡地区 四会場 前期・後期に分けて実施
- ・社会教育主事等研修会 (会場二会場(県庁))
- ・前期 11月18日(水)19日(水)

この会議では、次のような報告を不してきた。

- ①県民の生涯学習に関する意識調査(昭和58年11月)
- ②新潟県生涯教育推進基本構想(昭和60年3月)
- ③生涯教育推進のための公民館の役割(昭和61年3月)
- ④本年度は、市町村の学習活動促進方策について検討している。
- ⑤生涯教育データバンク情報提供事業

県内に在る生涯教育資源の学習情報収集し、提供するもので、既に次の情報をガイドブックにまとめ提供してきた。

- ①学習施設編(昭和58年2月)
- ②事業編(昭和57年度実施事業)
- ③新潟県の博物館(昭和58年3月)
- ④指導者編(昭和59年3月)
- ⑤事業編(昭和58年度実施事業)
- ⑥グループ・サークル編(昭和60年3月)
- ⑦視聴覚教育(社会教育用16ミリ映画)編(昭和61年2月)
- ⑧本年度は、学習教材(視聴覚教材解説)編の収集に当たっている。
- ・広域講座
- ・高度化、専門化している県民の学習要求をこたえるため、広域的

な専門講座と高等学校開放講座を報を収集し、提供するもので、既に本年度の専門講座は次の二講座を開設している。

- ①勤労者のための家庭教育講座
- ②一志奮起の子供たちを育てよう
- 10月11日(土)11月31日(土)
- 「新しい企業人をめざす木曜セミナー」
- 11月6日(水)12月19日(水)
- また、県立高等学校では、成人を対象とした高等学校開放講座を開設している。本年度は、十四校(うち四校は国委嘱事業)で実施している。
- ・中国引揚者地域交流活動事業
- 県内に在住帰国した中国引揚者

の定着、自立促進を図るための事業で、引揚者の多い新潟市に委託して実施している。

- 市町村の生涯教育を推進するため、次の事業を実施している。
- 市町村生涯学習推進事業
- 生涯教育推進モデル市町村設置事業
- 生涯教育推進に取り組みしている市町村の一層の充実を図るもの
- で、安曇町・六日町・黒埼町・小田町が指定を受けている。
- ・地域活動推進モデル事業
- 地域における学習活動を促進するため、青少年地域活動推進事業

地域ぐるみ学習で教育実践活動、社会教育ボランティア活用事業、地域おこし青年活動事業の補助を実施している。本年度の事業実施額は百二十七万五千円である。

- ・生涯学習奨励事業
- 生涯学習奨励会の発表を図るための補助で、本年度は百十一事業を実施している。

図書推薦コーナー

「三面川」

大庭みな子著

導子は、村上出身の伯父と三面川へ出かける。そこには、生まれた川に帰ってくる蛙のように、三十年後の初恋の人の再会、そして、ひそやかな愛と別れの物語があった。

「貝になった男」

直江津捕虜収容所事件 上坂冬子著

戦時中、日本の各地に捕虜収容所があった。その中で、なぜか、直江津だけが最も多くの収容者を出しながら、その収容所長は処刑されなかった。なぜなのか、その謎解きに迫る。

「相馬御風とその妻」

相馬文字著

父・御風が詩人、そして自然主義文学の論客として名を成しながら、望郷の念に駆られて郷里に隠棲して良寛研究に没頭したときに、東京で生れ育って、戦後で生を終えた母・照子の胸の内に望郷の思いが強く、

「愛憎河井継之助」

中島欣也著

河井継之助については、これまで数多くの著作や言説がなされてきた。しかし、そこには忠孝至誠の権化のような偉大な河井像が多く見られた。百人が河井を語れば、百通りの河井像が生まれても不思議ではない。本書は、地元の感情を「愛憎」としてとらえた著者の「私の河井継之助像」であると

あとがき

◇新潟大学の吉川教授による、「公民館職員」の専門性に関する調査が、このほかに、完了しました。

近々中に、概略の解説をしていただければ幸いです。二月号から四月乃至五月にかけてシリーズで本紙に掲載できそうです。ご期待願います。

おわび

十月号「二百八頁」欄に大きな校正ミスがありました。上段終りから六行目「地方行事」を「地方行政」に、下段、行目「その現在の」の「現在の」を「同」に、行目「地域」を「地」に訂正させていただきます。すまぬ校正を心からおわびします。